

## 平成 28 年度リスクコミュニケーションの国内事例に関する調査票

本調査は、化学物質のリスク等に係る国民、事業者、行政機関等相互の理解（リスクコミュニケーション）の促進に向けた一つの方策として、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）のホームページから提供しておりますリスクコミュニケーション活動（以下「地域対話」という。）に関する情報について、最新かつ詳細な内容とするために、事業者のみなさまの活動状況をお伺いするものです。お忙しい時期に恐縮ではございますが、何卒ご協力下さいますようお願い申し上げます。

### リスクコミュニケーション国内事例

<http://www.nite.go.jp/chem/management/risk/kokunaijirei.html>

### 《本調査で使用される用語の定義》

- 事業者  
事業を行っているもののこと。一般には会社、企業などと呼ばれるものであり、これには公営企業等も含まれます。
- 事業所  
事業者が事業を行っている場所であり、事業活動が行われている、1 単位の場所のこと。一般には、工場、事業場、営業所などと呼ばれるものです。
- リスクコミュニケーション（地域対話）  
「PRTR データなどの化学物質管理に関する話題」を含む環境への取り組みに関することについて、地域住民への情報提供を目的とした、企業や業界団体等が自ら行う説明会や対話、イベント等のこと。自社の環境への取り組みについての説明があれば、どのような形式でも構いません。主な形態を設問 3 に示しました。

※ご連絡先などの基本情報は、設問の最後にお伺い致します※

## I. 平成 28 年度までの地域対話の取組状況

設問 1. 地域対話はいつ開始されましたか。該当する欄に○を付けてください。

1. 平成 28 (2016) 年度	7. 平成 22 (2010) 年度
2. 平成 27 (2015) 年度	8. 平成 21 (2009) 年度
3. 平成 26 (2014) 年度	9. 平成 20 (2008) 年度 以前
4. 平成 25 (2013) 年度	↳平成 (西暦 ) 年度
5. 平成 24 (2012) 年度	10. 実施していない
6. 平成 23 (2011) 年度	→設問 3 2 (P13) にお進みください。

以下の地域対話の事例をベースに、以降の設問にご回答下さい

1. 地域説明会・対話集会
  2. JRCC (日本レスポンシブル・ケア協議会) 地域説明会への参加
  3. 事故などによるトラブルに対する説明会
  4. 設備の更新や新設などの工事説明会
  5. 自治体によるモデル事業への参加
  6. 工場見学会 (一般市民向け)
  7. 工場見学の受け入れ、科学教室、出前授業など (子供向け)
  8. 環境報告書を読む会
  9. 地域協定やモニタリング結果報告会
  10. 催し物 (お祭り、花見、文化祭、防災訓練などの地域活動)
- なお、地域に関係なく全国レベルで行われる展示会は含みません。

設問 2. 地域対話を始めたきっかけは何ですか。該当する欄に○を付けてください。また、それぞれの詳細について、具体的な内容をご記入ください。【複数回答可】

1. 貴社・貴事業所の自発的な活動
↳ 具体的に：
2. 自治体・周辺住民などの外部からの要請
↳ 具体的に：

設問 3. 地域対話は定期的に実施していますか。該当する欄に○を付けてください。また、定期的に行われている場合には、その頻度についてもご記入ください。

	1. 定期的
	↳ _____年に_____回
	2. 不定期（必要な時など）
	3. 平成27年度または平成26年度限り

設問 3-1. 設問 1 でご回答の地域対話について、開始してからこれまでの合計の実施回数について、取組形式ごとにご記入ください。なお、本取組には社内会議や業務、ISO等の審査など社内関係者だけでの活動は含みません。

取組形式	実施回数
1. 地域説明会・対話集会	回
2. JRCC（日本レスポンスブル・ケア協議会）地域説明会への参加	回
3. 事故などによるトラブルに対する説明会	回
4. 設備の更新や新設などの工事説明会	回
5. 自治体によるモデル事業への参加	回
6. 工場見学会（一般市民向け）	回
7. 工場見学の受け入れ、科学教室、出前授業など（子供向け）	回
8. 環境報告書を読む会	回
9. 地域協定やモニタリング結果報告会	回
10. 催し物（お祭り、花見、文化祭、防災訓練などの地域活動）	回
11. その他	回
↳ 具体的に：	回

設問 4. 貴事業所における地域対話の目的についてご記入ください。

設問 5. 平成27～28年度※に地域対話を実施されましたか（主催、共催どちらでも構いません）。該当する欄に○を付けてください。なお、ここで言う地域対話とは、設問3に示す取組みを言います。

	1. はい	→設問 6 にお進みください。
	2. いいえ	→設問 3 1 にお進みください。

※平成27～28年度とは、平成27年4月1日～平成28年3月31日の間です。

## II. 平成 27～28 年度の地域対話の取組状況

設問 5 で「1. はい」と回答いただいた事業所にお伺いします。以降の設問は、貴事業所で実施した地域対話について、最も代表的なものを一つ選び、その取組みについてご記入ください。

設問 6. 地域対話の実施主体について、該当する欄に○を付けてください。また、実施主体の名称もご記入ください。※番号 2～6 については具体的にご記入ください。

	1. 貴事業所
	2. 都道府県、市、町などの自治体
	↳自治体名：
	3. 事業者団体、工業団地、グループ企業
	↳事業者団体名等：
	4. 市民団体（NPO・NGO）
	↳NPO・NGO 名：
	5. 共催
	↳具体的に：
	6. その他
	↳具体的に：

設問 7. 当該地域対話の実施の準備に際して、他の組織等に相談されましたか？された場合、その相談先について、該当する欄に○を付けてください。また、相談先の名称もご記入ください。【複数回答可】※番号 2～6 については具体的にご記入ください。

	1. 貴社内の他事業所
	2. 都道府県、市、町などの自治体
	↳自治体名：
	3. 事業者団体、工業団地、グループ企業、近隣企業
	↳事業者団体名等：
	4. 市民団体（NPO・NGO）
	↳NPO・NGO 名：
	5. 専門家
	↳具体的に：
	6. その他
	↳具体的に：

設問 8. 地域対話はどのような形式で行いましたか？該当する欄に○を付けてください。

例えば、工場見学会と地域説明会をセットで行った場合は、1, 6に○をつけてください。

【複数回答可】

<input type="checkbox"/>	1. 地域説明会・対話集会
<input type="checkbox"/>	2. JRCC（日本レスポンシブル・ケア協議会）地域対話への参加
<input type="checkbox"/>	3. 事故などによるトラブルに対する説明会
<input type="checkbox"/>	4. 設備の更新や新設などの工事説明会
<input type="checkbox"/>	5. 自治体によるモデル事業への参加
<input type="checkbox"/>	6. 工場見学会（一般市民向け）
<input type="checkbox"/>	7. 工場見学の受け入れ、科学教室、出前授業など（子供向け）
<input type="checkbox"/>	8. 環境報告書を読む会
<input type="checkbox"/>	9. 地域協定やモニタリング結果報告会
<input type="checkbox"/>	10. 催し物（お祭り、花見、文化祭、地域活動など）
<input type="checkbox"/>	11. その他
<input type="checkbox"/>	↳ 具体的に：

※当日の関連資料をご提供いただける場合は、添付してください。

設問 9. 地域対話開催当日の参加者の属性と参加者数をご記入ください。複数回行われている時は合計せず、最も代表的な地域対話 1 日分の数値を記載してください。なお、本取組には地域対話の準備に関する打ち合わせや事前練習、ISO 等の審査など社内関係者だけの活動は含みません。

参加者の属性	参加者数
1. 近隣住民（自治会、町内会など）	人
2. 市民団体（NPO、NGO など）	人
3. 近隣の事業者	人
4. 自治体職員	人
5. 一般市民（傍聴者、見学者）	人
6. 貴社（貴事業所と他事業所の合計）	人
7. その他	人
↳ 具体的に：	人
<b>総数</b>	人

設問 10. 実施した地域対話に名称があればご記入ください。

<p>【例：○○化学○○工場 環境説明会】</p>
---------------------------

設問 1 1. 以下の設問は、設問 8 でお答えいただいた「地域対話」について、地域対話を実施した場所について、該当する欄に○を付けてください。【複数回答可】

	1. 貴事業所内
	2. 貴事業所外の自社の関連施設
	3. 公共施設
	4. ホテルなど民間貸し会場
	5. 貴事業所外の催物のあった場所（展示会や花見の会など）
	6. その他
	↳具体的に：

設問 1 2. 地域対話の実施時期について、①事前の計画や準備等の開始時期、及び②当該地域対話の実施日時について、ご記入ください。

①事前の計画や準備等の開始時期	年 月 頃
②地域対話の実施日時	年 月 日（曜日） 時 分～ 時 分

設問 1 3. 地域対話への参加者に対し、リスクコミュニケーションや化学物質など何らかの事前勉強会を実施されましたか。該当する項目に○を付けてください。また、実施した場合は、概要もご記入ください。

	1. 実施した
	↳実施概要：
	2. 実施していない

※ 関連資料をご提供戴ける場合は添付するか、郵送してください。

設問 1 4. 参加者に対し、地域対話の実施前にアンケートを実施されましたか。該当する項目に○を付けてください。また、実施した場合は、活用方法もご記入ください。

	1. 実施した
	↳活用方法：
	2. 実施していない

※ アンケート票をご提供いただける場合は、添付するか、郵送してください。

設問 1 5. 地域対話開催当日に向けた想定問答集は作成されましたか。該当する項目に○を付けてください。また、想定問答集の想定方法や想定範囲について具体的にご記入ください。

1. はい
想定方法：例) 貴事業所で実施した事前アンケートをもとに想定、他部署の従業員に疑問点を聞くなどして模擬的に想定 など
想定範囲：例) 環境全般に関して、化学物質（のリスク）に特化したもの など
2. いいえ

※ 想定問答集をご提供戴ける場合は添付するか、郵送してください。

設問 1 6. 地域対話開催当日のプログラムや説明内容等についてお伺いします。どのようなことを行いましたか。該当する欄に所用時間をご記入ください。【複数回答可】  
 ※番号 6～8 については具体的にご記入ください。なお、所要時間には社内での準備時間は含めません。

プログラム・説明内容等	時間
1. 貴社・貴事業所紹介	分
2. 貴事業所の環境活動報告	分
3. 貴事業所の災害対策	分
4. 工場見学	分
5. 質疑応答・意見交換会	分
6. 社外協力者の講演 例) 自治体、大学教授など	分
↳具体的に：	
7. 専門家の講評 例) 自治体、大学教授など	分
↳具体的に：	
8. その他	分
↳具体的に：	
合計	分

※当日の配布資料など、関連資料をご提供いただける場合は、添付するか、ご郵送をお願いします。

設問 17. 貴事業所における地域対話のプレゼン資料の作成方法についてお伺いします。該当する欄に○を付けてください。【複数回答可】※番号3～5については具体的にご記入ください。

	1. 既存資料の抜粋
	2. 発表当日専用に集計・加工
	3. 外部協力者の支援 例) 自治体、大学教授など
	↳ 具体的に：
	4. 公開情報の参照 例) NITE、自治体など
	↳ 具体的に：
	5. その他
	↳ 具体的に：

設問 18. 地域対話で説明した環境への取組は、どのような内容でしたか。また、説明に対して、どのような内容の質問・意見がありましたか。該当する欄に○を付けてください。【複数回答可】

説明あり	項目	質問あり	質問の内容(具体的に)
	1. 化学物質の排出量(P R T R制度など)		
	2. 化学物質のリスクに関する情報		
	3. 化学物質の管理に関する法律の遵守状況(大防法、消防法、毒劇法など)		
	4. 騒音		
	5. 臭気		
	6. 敷地内の植栽や緑化		
	7. 排水処理		
	8. 地震、災害時の対応		
	9. 温暖化対策や省エネ対策		
	10. 廃棄物対策		
	11. 通勤時などの従業員マナー		
	12. 荷卸、工事車両などの交通マナー		
	13. その他		
	↳ 具体的に：		



設問 19. 設問 18 で回答いただいた地域対話で説明した環境への取組に対する質問・意見に対して、その場の回答以外にどのようなアクションをされましたか？左枠の番号は設問 19 と対比しています。【複数回答可】

番号	質問内容 (具体的に)	アクション (具体的に)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		

設問 20. 設問 18 「地域対話で説明した環境への取組」で「2. 化学物質のリスクに関する情報」を選択した事業所にお伺いします。その具体的な内容はどのようなものですか。該当する欄に○を付けてください。【複数回答可】回答後は、設問 23 にお進みください。

チェック	項目	具体的な内容
	1. 取扱物質の毒性に関する情報	
	2. 貴事業所周辺濃度 (モニタリング測定結果)	
	3. 貴事業所周辺濃度 (シミュレーション結果)	
	4. 化学物質のリスク評価結果	
	5. その他	

設問 21. 設問 18 で「2. 化学物質のリスクに関する情報」を選択しなかった事業所にお伺いします。それは何故ですか。該当する欄に○を付けてください。【複数回答可】

	1. 開示の必要性を感じないため
	2. 地域住民などが過剰に反応することが不安であるため
	3. 事業所のリスクがどの程度かわからないため
	4. 同業者や同じ工業団地内の企業がやっていないため
	5. その他
	↳具体的に：

設問 2 2. 参加者に対し、地域対話の終了時にアンケートを実施されましたか。該当する欄に○を付けてください。

	1. 実施した
	2. 実施していない

※アンケート票をご提供いただける場合は、添付するか。ご郵送ください。

設問 2 3. 地域対話の進行や講演などを第三者に依頼しましたか。依頼した場合には、依頼内容について該当する欄に○を付けてください。【複数回答可】

	1. 依頼した
依頼 内容	a. 司会進行（ファシリテータ）
	b. 技術・科学的説明（インタプリタ）
	c. 学識経験者などの基調講演
	d. その他
	↳具体的に：
	2. 依頼していない

設問 2 4. 地域対話開催当日、参加者用に準備したものについて、該当する欄に○を付けてください。【複数回答可】

	1. 会社概要・環境報告書
	2. 発表原稿のハンドアウト（印刷物）
	3. 飲み物
	4. お弁当
	5. お土産
	6. 懇親会
	7. その他
	↳具体的に：

設問 2 5. 地域対話の開催のお知らせはどのような方法を取りましたか。該当する欄に○を付けてください。【複数回答可】

	1. ホームページやチラシなど通常活用している自社のコマーシャル手段
	2. 自治体の広報誌、ホームページ
	3. 自治会長への連絡
	4. 近隣住民への戸別訪問（チラシの戸別配布を含む）
	5. 近隣自治会の回覧板
	6. 学校などへの案内配布
	7. 近隣事業者への案内
	8. 事業者団体への案内
	9. その他
	↳ 具体的に：

※開催のお知らせをご提供いただける場合は、添付するか、ご郵送ください。

設問 2 6. 地域対話を実施したことを御社のホームページや環境報告書などで公表されましたか。該当する欄に○を付けてください。また、公表手段についても該当する欄に○を付けてください。

	1. 公表した
公表方法	a. ホームページや環境報告書などで公表
	b. 自治体や国又は公共機関等のホームページなどに掲載
	c. その他
	↳ 具体的に：
	2. 公表していない
	3. これからする予定
公表方法	a. ホームページや環境報告書などで公表
	b. 自治体や国又は公共機関等のホームページなどに掲載
	c. その他
	↳ 具体的に：

設問 2 7. 地域対話の実施（継続）により、どのような効果を期待しますか。

--

設問 28. 地域対話を実施されたことで、特に感じたことなどがございましたら、ご記入ください。（例：参加者の反応や開催における問題点など）

--

設問 29. これまでの設問でお伺いした内容について、独立行政法人製品評価技術基盤機構のホームページに掲載をしてもよろしいですか。該当する欄に○を付けてください。掲載イメージは、本調査の依頼状の（別紙）に記載しております。

また、ご承諾いただいた場合には、掲載内容についてお送りし、ご確認をいただいた上で掲載いたします。

	1. 掲載してもよい
	2. 掲載して欲しくない

設問 30. これまでの設問でお伺いした内容の詳細について、電話や E-Mail での確認にご協力いただけますか。

また、全事業者の中から 10 社程度に訪問調査することを想定していますが、ご協力いただけますか。該当する欄に○を付けてください。

【電話や E-Mail での確認】		【訪問調査】	
	1. 協力できる		1. 協力できる
	2. 協力できない		2. 協力できない

### Ⅲ. 追加の質問項目

これ以降にお尋ねする内容は、リスコミ事例調査とは関係なく、事業者様の化学物質管理の状況についてお尋ねするものです。ご協力いただける場合にはご回答ください。

#### 【PRTR 排出量の計算について】

貴事業所で、大気排出量の最も多い第一種指定化学物質について、以下の設問にお答え下さい。

設問 31. 貴事業所で、大気排出量の最も多い第一種指定化学物質について、以下に御記入ください。

--

設問 3 2. 以下の 1.~5.の中から排出量算出に使用している方法はどれでしょうか。あてはまるものにチェックを付けてください。（複数選択可）

	1. 物質収支を用いる方法
	2. 実測値を用いる方法
	3. 排出係数を用いる方法
	4. 物性値を用いる方法
	5. その他、的確に排出量算出できると認められる方法
	↳方法：

設問 3 3. 設問 3 2で「3.排出係数を用いる方法」を選択した方に伺います。どのようにして、排出係数を設定したのでしょうか。回答欄に具体的にご記入ください。

（回答例）洗浄工程からの蒸発量（実測）と除害装置の除害率（設計値）を用いて、排出係数を設定した。

--

設問 3 4. 設問 3 2で「3.排出係数を用いる方法」を選択した方に伺います。当該排出係数は、最初に設定して以降、見直しをしていますか？該当する欄に○を付けてください。

	1. 毎年、見直ししている。（業種別マニュアル等が毎年見直されている。）
	2. 毎年、見直ししている。
	↳ 1.以外の見直した理由：
	3. 過去に見直したことがある。 （業種別マニュアル等が見直された際に見直した。）
	4. 過去に見直したことがある。 （運転条件（工程、製造装置、処理装置等）を変更した際の実測して見直した。）
	5. これまで、見直したことがない。 （業種別マニュアル等が見直されていないため。）
	6. これまで、見直したことがない。 （運転条件（工程、製造装置、処理装置等）の変更がないため。）
	7. その他
	↳具体的に：

設問 3 5. P R T R 制度による排出量・移動量の届出を開始してからこれまでの間、指定化学物質の取扱量と排出量の比についてどのような変化がありましたか？現在、最も多く排出している指定化学物質について、その状況に○を付けてください。

※排出量に移動量は含めず、最初に届出した時点と直近の届出について取扱量に対する排出量の比についてお答えください。また、1.は概ね10%以上減少、2.は概ねプラスマイナス10%の範囲、3.は概ね10%以上増加をそれぞれ指します。

	1. 取扱量に対する排出量の比は、減少した。
	2. 取扱量に対する排出量の比は、ほとんど変わっていない。
	3. 取扱量に対する排出量の比は、増加した。

設問 3 6. 設問 3 5 で 1.又は 3.に、ご回答いただいた方にお尋ねします。取扱量に対する排出量の比が変動した原因にチェックを付けてください。（複数選択可）

	1. 製造工程はそのまま、運転条件の変更による排出量の減少。
	2. 製造設備・装置等の改良や更新、除害・処理装置の導入・更新など、設備・装置等の改善による排出量の減少。
	3. 製造する製品そのものの変更や、製造する製品の品種の絞り込みによる取扱量の減少とそれともなう排出量の減少。
	4. 製造工程の収率向上、その他生産効率の改善による取扱量の減少とそれともなう排出量の減少。
	5. 使用する原料としての当該指定化学物質の取扱量の減少とそれともなう排出量の減少（当該指定化学物質の代替）。
	6. 使用する副資材（燃料、添加剤等）としての当該指定化学物質の取扱量の減少とそれともなう排出量の減少（当該指定化学物質の代替）。
	7. 当初、排出していると考えていた排出源を精査した結果、排出していなかったことが判明したことによる排出量の減少。
	↳ どのような排出源か：
	8. 排出係数の変更による減少（又は増加）。
	↳ 具体的にどう変更したか：
	9. 排出量算出方法の見直しによる減少（又は増加）
	↳ 具体的にどう見直したか：
	10. 当初、想定していなかった排出源の発見による排出量の増加。
	↳ どのような排出源か：
	11. 製造設備・装置、除害・処理装置等の劣化による排出量の増加。
	12. 製造製品の増産、多品種化等による取扱量の増加ともなう排出量の増加。
	13. 運転切替え頻度の増加、運転条件の変更等による排出量の増加。
	14. 定修期間中の除害設備停止による排出量の増加。
	15. その他
	↳ 具体的に：

設問 3 7. 設問 3 5 で 2. にご回答頂いた方にお尋ねします。取扱量に対する排出量の比が変動しなかった原因は、以下のどれに該当するのか、チェックを付けてください。  
(複数選択可)

<input type="checkbox"/>	1. 原料、副資材、運転条件等に何ら変更していない、変更することができないため（例：製造方法の変更等に制約がある医薬品製造等）。
<input type="checkbox"/>	2. 製造設備・装置、除害・処理装置等の変更を行っていないため。
<input type="checkbox"/>	3. 業界マニュアル等の排出係数等の変更を行っていないため。
<input type="checkbox"/>	4. 排出量算出方法を見直ししていないため。
<input type="checkbox"/>	5. 除害・処理装置、回収装置を設置することができないため。（例：船舶塗装等開放系で使用されるケース）
<input type="checkbox"/>	6. 製造製品や副資材として使用している当該指定化学物質の代替を行い、取扱量と排出量が連動して減少したため、結果的に比が変わらなかった。
<input type="checkbox"/>	7. 取扱量と排出量の比が増加した工程と減少した工程があったが、結果的に相殺され、比が変わらなかった。
<input type="checkbox"/>	8. 取扱量が増加したが、それにもなって排出量も増加し、結果的に比が変わらなかった。
<input type="checkbox"/>	9. 取扱量が減少したが、それにもなって排出量も減少し、結果的に比が変わらなかった（当該指定化学物質の代替を行ったものではない）。
<input type="checkbox"/>	10. その他
<input type="checkbox"/>	↳ 具体的に：

設問 3 8. 貴事業所内での化学物質の使用に関して、現在、想定している最も大きなリスクは何ですか？一つ選んで○を付けてください。6.を選んだ事業所はVI基本情報にお進みください。

<input type="checkbox"/>	1. 爆発・火災
<input type="checkbox"/>	2. 漏洩のみ
<input type="checkbox"/>	3. 労働者への暴露
<input type="checkbox"/>	4. プラントの異常反応
<input type="checkbox"/>	5. その他
<input type="checkbox"/>	↳ 具体的に：
<input type="checkbox"/>	6. 想定していない →VI基本情報の入力へ

設問 3 9. その結果起こる事象のうち、影響が懸念される事象の順番を各項目で1つ、それぞれ選んでください。

<input type="checkbox"/>	1. 設備の損壊	1・2・3・4・5・6 位
<input type="checkbox"/>	2. 人的被害	1・2・3・4・5・6 位
<input type="checkbox"/>	3. 周辺への延焼	1・2・3・4・5・6 位
<input type="checkbox"/>	4. 周辺住民の健康影響	1・2・3・4・5・6 位
<input type="checkbox"/>	5. 周辺の自然環境への影響	1・2・3・4・5・6 位
<input type="checkbox"/>	6. その他	1・2・3・4・5・6 位
<input type="checkbox"/>	↳ 具体的に：	

設問 4 0. 設問 3 8, 3 9 で想定されているリスクを管理するために、最も影響の大きな化学物質を特定し、事故に至るシナリオ等を構築していますか？一つ選んで○を付けてください。

	1. 化学物質を特定しており、事故に至るシナリオを構築し、それに基づく管理措置も検討している。
	2. 化学物質を特定しており、シナリオも構築している。
	3. 化学物質は特定しているが、それ以上は未検討である。
	4. 化学物質を原因とする事故等の懸念はあるが、検討していない。
	5. その他
	↳ 具体的に：

設問 4 1. 設問 4 0 でシナリオを想定した事業所にお尋ねします。その際に、火災や爆発のリスク評価を実施したことはありますか？一つ選んで○を付けてください。

	1. 自社で既存のモデルを使って火災や爆発のリスク評価を実施した。差支えなければ、ソフトウェアの名称を記入してください。
	↳ ソフトウェア名：
	2. 自社でモデルを作成して火災や爆発のリスク評価を実施した。
	3. 定量的なリスク評価ではなく、リスクがある、なし等の定性的なリスク評価を行った。
	4. 実施していない。
	5. その他
	↳ 具体的に：

設問 4 2. 事故や災害などの緊急時対応マニュアルについてお尋ねします。

	42-1. 緊急時対応マニュアルを策定していますか？	YES ・ NO
	42-2. 42-1 で YES と回答した場合、以下もお答え下さい	
	1. 策定に際して参考やひな形にした資料はありますか？	YES ・ NO
	2. 策定にあたって、相談した機関はありますか？	YES ・ NO
	3. 対象範囲に周辺地域や住民も含めていますか？	YES ・ NO
	4. 作成したマニュアルについて実施可能か、評価したことはありますか？	YES ・ NO

設問 4 3. 火災や爆発などの事故を想定した事業継続計画 (Business Continuity Planning) は整備されていますか？一つ選んで○を付けてください。

	1. 当事業所の事故を想定した企業全体の BCP がある。
	2. 当事業所のみを対象にした BCP がある。
	3. 火災や爆発は対象にしていなが、企業全体の BCP がある。
	4. 事故のリスクは想定されていないので、BCP は作成していない。
	5. 検討中である。
	6. BCP は検討していない。



設問 4 4. 火災や爆発のリスクに対応するための情報共有を目的とした社内体制についてお尋ねします。該当する項目をすべて選択して、チェックを付けてください。（複数選択可）

<input type="checkbox"/>	1. 情報共有のためのマニュアルがある。
<input type="checkbox"/>	2. 1.に関する社内教育を定期的に行っている。
<input type="checkbox"/>	3. ヒヤリハットに関して、社内で情報共有する仕組みがある。
<input type="checkbox"/>	4. 火災や爆発などのリスクについて、事業所内の全ての作業者と情報共有する仕組みがあり、周知している。
<input type="checkbox"/>	5. 非定常な運転状態に対処するための情報収集は常に行っている。
<input type="checkbox"/>	6. その他。特筆すべき取り組みがあればご記入ください。
<input type="checkbox"/>	↳ 具体的に：

設問 4 5. 地域との対話において、火災や爆発に関する情報を伝えたことがありますか？該当する項目を一つ選んで○を付けてください。

<input type="checkbox"/>	1. 事業所からは伝えたことはないが、地域住民の皆さんから火災や爆発のリスクについて質問や意見を戴いたことがある。
<input type="checkbox"/>	2. 事業所のリスクとして、地域対話で伝えたことがある。
<input type="checkbox"/>	3. 口頭では伝えていないが、パンフレットやHPに記載している。
<input type="checkbox"/>	4. 火災や爆発のリスクについては、伝えたことも意見を戴いたこともない。

設問 4 6. 防災訓練についてお尋ねします。該当する項目を一つ選んで○を付けてください。  
※消火訓練、避難訓練や工業団地単位での訓練も含む。

<input type="checkbox"/>	1. 毎年、事業所単位で行っている。
<input type="checkbox"/>	2. 1.に近隣事業所を加えて行っている。（工業団地単位含む）
<input type="checkbox"/>	3. 1.に近隣住民も含めて行っている。
<input type="checkbox"/>	4. 近隣事業所、住民等も含めて地域で行っている。
<input type="checkbox"/>	5. 行っていない。

⇒IV. 基本情報にお進みください。

以下は、設問1で「10. 実施していない」又は設問6で「2. いいえ」とご回答いただいた事業所にお伺いします。

これ以降にお尋ねする内容は、NITEの地域対話説明会の資料作成や当該調査報告書作成に使用させていただきます。ご協力いただける場合には、ご回答ください。その際貴事業所名は公表いたしません。

設問47. 地域対話を実施されなかった理由についてお伺いします。該当する項目にチェックを付けてください。(複数選択可)

<input type="checkbox"/>	1. 地域住民のニーズを感じない
<input type="checkbox"/>	2. 地域住民などが過剰に反応することへの不安
<input type="checkbox"/>	3. 人や時間などのコストがかかるため
<input type="checkbox"/>	4. 継続するには、話題が無いため
<input type="checkbox"/>	5. 企業としてのメリットが見えないため
<input type="checkbox"/>	6. 同業者や同じ工業団地内の企業がやっていないため
<input type="checkbox"/>	7. 諸般の事情でできなかった(天災、会社の統廃合等)
<input type="checkbox"/>	8. その他
<input type="checkbox"/>	↳ 具体的に：

設問48. 今後の地域対話の実施予定についてお伺いします。該当する項目を一つ選んで○を付けてください。また、実施予定がある場合には、実施時期についてもご記入ください。

<input type="checkbox"/>	1. 実施する予定がある
<input type="checkbox"/>	a. 実施時期は未定
<input type="checkbox"/>	b. 実施時期は決定している(具体的時期： )
<input type="checkbox"/>	2. 実施できるが今のところ予定は無い
<input type="checkbox"/>	3. 現在は難しいが環境がそろえば実施したい
<input type="checkbox"/>	4. 実施しない

#### IV. 基本情報

最後に、回答内容について問い合わせさせていただく際の連絡先を教えてください。

※下記の<個人情報の取扱いについて>に同意いただけましたら、「( )  
上記個人情報の取り扱いに同意します」の( )に○を付けていただき、ご回答者さまのご所属、ご役職、お名前及びご連絡先等をご記入ください。

<個人情報の取扱いについて>

- ・当研究所、公益財団未来工学研究所は、「プライバシーマーク制度」(JISQ15001:2006に準拠)の認定を受けています。  
 認定機関：(一財)放送セキュリティセンター  
 登録番号：第21000182(05)号  
 認定の有効期間：平成28年06月09日から平成30年06月08日
- ・本調査票にご記入いただく個人情報は、公益財団未来工学研究所の個人情報保護方針に基づいて取り扱います。  
<http://www.ifeng.or.jp/privacy-policy/>
- ・ご記入いただいた個人情報は、適正に管理し、「リスクコミュニケーションの国内事例に関する調査」以外の目的には使用いたしません。  
 また、同目的により、業務実施元である(独)製品評価技術基盤機構に提供することがあります。
- ・個人情報に関するお問い合わせは下記までご連絡ください  
 公益財団未来工学研究所 担当 小沼(オヌマ)、林(ハヤシ)  
 お問い合わせ窓口 TEL：03-5245-1015

上記個人情報の取り扱いに同意します

貴社名	(法人番号)	
事業所名		
所属部署		
お名前		
電話番号	FAX番号	
E-mailアドレス		
会社情報	会社URL(または検索キーワード)	
	環境報告書・CSRレポート等のURL(または検索キーワード)	
事業所の立地環境 (該当項目に○を付けてください)		コンビナート
		工業団地
		住宅隣接地域
		その他
	↳具体的に：	
事業概要	主たる業種	
	主たる製品	

本調査の設問は以上です。ご協力、誠に有り難うございました。厚く御礼申し上げます。